



学校だより みなみありま



令和3年1月29日(金) 第9号
南島原市立南有馬小学校
文責:校長 永田 佳弘

春がきました



節分は毎年2月3日とっていましたが、今年立春が2月3日となり、節分はその前日の2月2日になるそうです。いつもより1日早く春が来ることになりますね。

右の詩の作者、村野四郎さんは、私たちがよく知っている「ぶんぶんぶん はちがとぶん♪」の作詞や、卒業式でよく歌われていた「栄立ちの歌」などの作詞もされています。

卒業式まであと少しとなりました。6年生は卒業制作の「階段アート」も完成して、次は伝統をつなぐ活動や下級生との思い出作りなど計画を立てて進めています。

朝茶は七里帰っても



寒い朝は布団から出るのも時間がかかりますね。起きるのが遅くなると、朝食の時間も十分取れずに、さっと済ませがちになります。

昔のことわざに「朝茶は七里帰っても飲め」というのがあります。朝茶は、その日の災難を逃れるので、七里(約28キロ)戻ってでも飲んだほうがいいということです。

お茶にはカテキン等、体にいいものも含まれていて、昔の人の知恵に感心します。



朝食をしっかりとして、お茶も飲んで、その日のいいスタートを切ることが、免疫カアップにもつながり風邪やコロナに感染しにくい体になると思います。そのためには、早めに寝るなど、生活リズムの確立が大切ですね。

うめの花

村野 四郎

うめの花が
さきだした
パチパチ パチパチ
まるで白い 放電だ



うめは だれと
おはなししてるの?

あれは
天へのしんごうよ



こちらは地上
春がきました
春がきました

なわとびブーム

体育の時間や昼休み等になわとびを頑張っています。なわとびカードをもとに、いろんな技にチャレンジして、回数ごとに級が上がっていきます。「10級は〇〇先生」「9級は□□先生」と全職員で担当をして、合格のサインと頑張りをたたえる声かけをしています。

なわとびは健康にいいのはもちろんですが、次のような効用もあります。

- ・できるようになった達成感と、やればできるという自信を得られます。
- ・友だちと競い合ったり教え合ったりして、お互いのよさに気づくことができます。



これが他のことにも広がるといいですね。

雪の不思議



昨年末、そして1月の三連休の時には、南島原市内でも雪が積もりました。久しぶりの雪に親子で一緒に雪だるま作りや雪合戦等されたところもあるかもしれませんね。

雪の結晶について面白いことが載っていましたので紹介します。



- ・六角柱の氷の結晶が縦や横に成長して、いろんな形の雪結晶になるそうです。しかし、1つとして同じ形にならないそうです。不思議ですね。
- ・顕微鏡が無くてもスマホとスマホ用マクロレンズ(100円ショップ等でも販売)で雪の結晶の撮影ができるそうです。

今度雪が降ったときには、親子で観察されてはいかがですか。



変化はチャンス

CHANGE is a CHANCE

コロナによって子どもたちの学習や大人の働き方も大きく影響を受けています。

一人一台パソコン、リモート会議など少し前まで想像できなかったことばかりです。

チェンジの「G」を「C」にかえると、チャンスという単語にかわります。

そのためには、チェンジの「G」のアルファベット最後の部分の「T」(トラブル:問題や障害)をとらなければなりません。何もしないと取り除けません。そこに私たちの工夫や知恵が必要です。



今後タブレット使用等については、みなさまの御理解、御協力が必要となります。どうぞよろしくお願いいたします。

チャレンジデー

5月の学校だよりで「無言清掃」についてお伝えしていました。2学期までは、「毎週火曜日を無言清掃チャレンジデー」として、掃除の音楽などもかけずに一人一人集中して取り組んできました。みんなが意識して火曜日は掃除時間に話し声が少なくなりました。

そこで、3学期は無言清掃チャレンジデーを週2日(火曜日と金曜日)に増やすことになりました。次年度は週4日になるようにつなげていきます。



「食」でふるさとにふれる

学校給食は、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。

1月24日から30日まで「全国学校給食週間」で、学校給食の意義や役割について関心を高める1週間でした。この期間は、下記のような郷土料理や地元の特産品等を使ったおいしい料理が出されました。

- 25日(月):くじらの竜田あげ
- 26日(火):ひょつるサラダ
- 27日(水):皿うどん
- 28日(木):具雑煮
- 29日(金):ふしめんじる



昔懐かしい献立や、歴史にまつわる料理等もありました。料理の解説は校内放送であってましたので、子どもたちにお尋ねください。



給食をとおして子どもたちは、伝統あるふるさとの味に触れて、南有馬、長崎のすばらしさを実感しました。